

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	社会福祉法人 青藍会 はあと f + j 小郡南		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数) 39名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに寄り添った柔軟な対応	日々の様子や小さな変化を大切に、その子に合った関わり方や環境調整を柔軟に行える。 自立支援に向けた取り組みとして、調理、掃除作業など実施している。	自立支援のプログラムを増やしていく。
2	施設内の広さ・環境設備の充実している	広い環境を活用して、個々の特性や活動内容に応じたスペース配慮を行っている。 学習室には仕切りを設け、一人ひとりが集中して学習しやすい造りになっている。	運動・静的活動・制作活動など目的別に分け、子ども一人が自分に合った過ごし方を見つけられる環境づくりを進めていく。
3	保護者や各関係機関との丁寧な連携	学校や保育所訪問支援を通して、現場の様子を直接把握し、保護者・関係機関と共通理解を図りながら一貫した支援を行っている。 保護者からの相談ごとなどは、随時受付して、助言をしている。	今後も保護者・関係機関との連携を大切に、日々の様子や課題を共有しながら支援に反映していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	理学療法士などの専門的視点による支援体制	利用者のニーズを的確に把握できていないと、そのニーズに応じた専門的視点での支援が行えないことがある。	・派遣や契約職による専門職の採用を検討し、必要な人材を確保すること。 ・福祉・医療系の専門学校との連携を強化し、インターンシップの受け入れなどを通じて若手人材を育成する。
2			
3			